

名神高速道路接続で救急搬送時間が短縮・救急搬送先が拡大

- ・名神高速道路接続によりアクセス性が向上、京都市街中心部の通過を回避でき、救急搬送時間が大幅に短縮。
- ・三次救急医療施設への搬送時間が平準化され、搬送先が1箇所から4箇所に拡大、スムーズな走行により傷病者への負担が軽減。



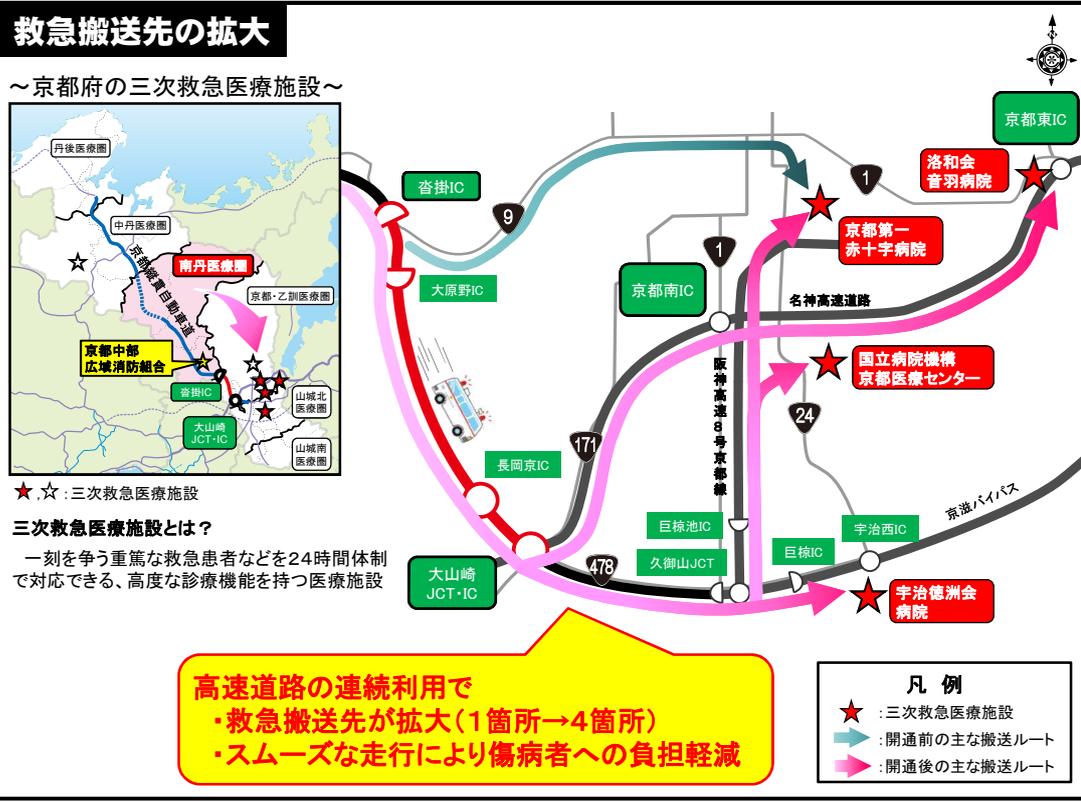
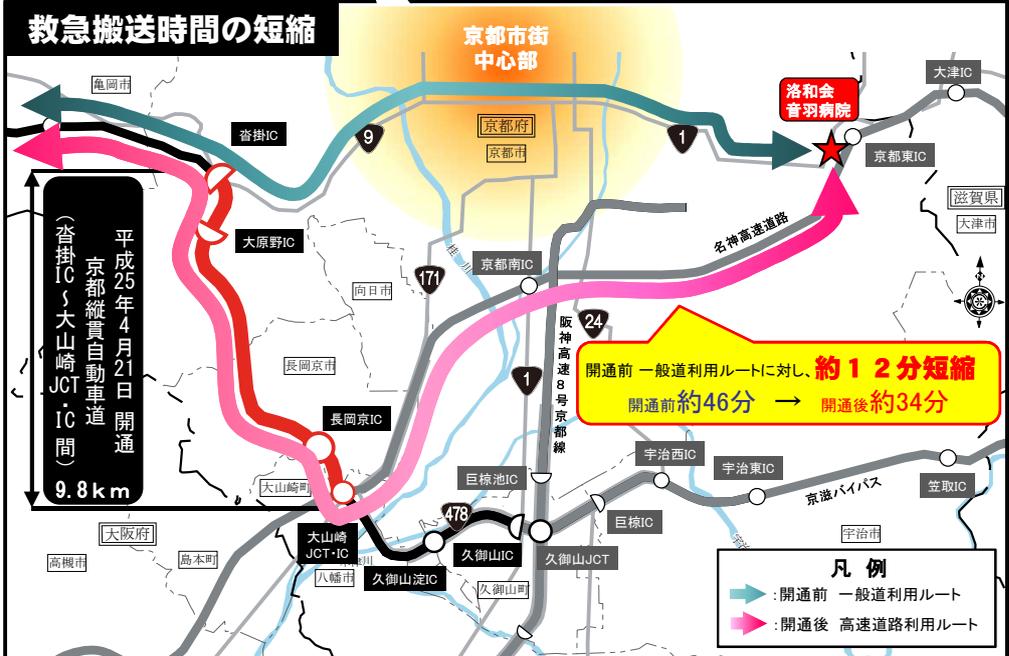
京に救急搬送 最大12分短縮

鳥岡「こそと」効果

京都府が、京滋バイパス(IC)と名神高速道路(IC)を接続する「京滋バイパス」が、京都市街中心部の通過を回避でき、救急搬送時間が大幅に短縮される。また、京滋バイパスが、京都市街中心部の通過を回避でき、救急搬送時間が大幅に短縮される。また、京滋バイパスが、京都市街中心部の通過を回避でき、救急搬送時間が大幅に短縮される。

京都中部消防、山科や宇治にも「傷病者の負担減」

平成25年9月6日 京都新聞 丹波版(朝刊)25面



京都縦貫自動車道開通により救急搬送に大きなメリット

- 高速道路の連続利用が可能となり、救急搬送時間の短縮を実感しています。
- 高速道路が整備されたことで、様々な病院への搬送が可能となったことから、搬送先の選択肢が広がっており、現場の状況に応じ柔軟かつ迅速な対応が可能となりました。
- 高速道路利用により、スムーズな走行が可能となり、傷病者への負担軽減につながっています。(ストップアンドゴーの軽減)
- 常に京都市内の渋滞を回避できる事で、搬送時間にバラツキがなくなり、時間がよめるようになりました。

京都中部広域消防組合